

会員各位

2021年11月4日
一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会
会長 足立征三郎

第109総会開催通知

†主の平和

2021年度は「響き合うBSAのために」と題して再スタートしたが、2020年と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅な活動休止となった。2月の第108総会（決算並びに役員改選）は開催することができものの、その後、予定されていた事業計画（青少年キャンプ・BSAセミナーなど）の殆どが中止・休止・延期となってしまう、理事会も2020年9月からWebによる開催が続いている。そのような中、100周年（2027年）に向けて記念プロジェクト「ロゴ・マーク」の選定が終わり早速活用。

休止中の特別委員会は①総会・評議員会・支部長会などで出された課題・提言の整理が出来、委員会としての具体的な改善提案がまとまれば理事会に提出。②BSAの定款について、定款文言と活動実態に乖離がないか精査を行い、乖離があった事項については、定款文言の修正提案を行う。③その他BSA組織の活動全般にわたり理事会に対して改善提案すべきと思われる内容について議論し、具体的提案を行う。以上3項目を検討課題として2019年12月28日、2020年1月18日と2回の会合の機会を持ったところで休止中。委員長（岩間兄）体調不調により交代が必然となり、特別委員会互選の松田正人兄を理事会で承認決定した。非常事態宣言も解除され、委員会開催の条件がそろえば早速に課題に取り組んでいただく。

VISIONの発行は滞ることなく、会員・関係者にお届けすることが出来た。編集・発行に携われた方々に感謝と、その労をねぎらいたと思います。

新刊の「信徒叢書」は、2021年9月に発行。「聖書の心と茶の心：高橋宏幸主教著」「ウィリアムズ主教に学ぶ：松平信久著」「神の教会・わたしたちの教会：加藤博道主教著」の3冊です。14年振りとなりましたが、このことは大変嬉しく関係者一同喜こんでおります。事前申し込みを多数受け、反響の大きい事を知り、多くの方々が「信徒叢書」の発刊を心待ちにされていたことが十分伝わってきた。主に感謝。

公祷の休止も復活の兆しが見え、教会の諸活動の動きが静かに始まっています。BSAの活動も動こうとしています。しかし、感染予防に対処するため、11月27日（土）開催の第109総会は書面による開催と致しました。つきましては、ご意見・ご提案等は同封の葉書にご記入いただき、11月25日迄にご返信下さいますようお願いいたします。

なお、記念礼拝（聖餐式）は以下のとおり実施いたします。どうぞオンラインによる参加を宜しくお願いいたします。

第 109 総会・記念礼拝聖餐式 ご案内

日時： 2021 年 11 月 27 日(土)

13:00 ～ ・記念礼拝聖餐式

司式： 主教 高橋宏幸 師 (本部チャプレン)

説教： 司祭 下条裕章 師 (本部チャプレン)

・入会式・再宣誓式

司式： 司祭 下条裕章 師 (本部チャプレン)

会場： 聖アンデレ教会 東京都港区芝公園 3-6-18

教会では、コロナ感染症防止策を徹底させて、礼拝を行います。体調のすぐれない方、体温が 37.5℃以上の方はご出席をご遠慮下さい。ご出席の方はマスクの着用をお願いいたします。

礼拝は、聖アンデレ教会のホームページで映像と音で同時配信されます。聖アンデレ教会のホームページ <http://www.st-andrew-tokyo.com/web/> の最下段「聖アンデレ教会のいくつかの礼拝を こちら で配信しています」の「こちら」の所をクリックすると同時配信の画面につながります。(配信がされていないときは聖堂の静止画像になります。)

書面による第 109 総会の議案は以下のとおりです。

報告： 2021 年度 (2020. 12. 1. ~2021. 11. 30.) 事業活動 中間報告

議案： 第 1 号議案：2022 年度 (2021. 12. 1. ~2022. 11. 30.) 事業活動計画 (案)
承認の件

第 2 号議案：2022 年度 (2021. 12. 1. ~2022. 11. 30.) 会計収支予算 (案)
並びに 2020 年度決算「収支計算書」一部修正 承認の件

同封の返信はがきに必要事項記入のうえ、ご返送くださいますよう、よろしくをお願いいたします。ご返送は、出欠集計の都合上 11 月 25 日(木)までに投函をお願いいたします。

なお、本年度 (2021 年度) 会費未納の方は 2022 年度会費と合わせてお振込み頂きたく、よろしくをお願いいたします。

第109総会

2022年（令和4年）度

自2021年12月1日 至2022年11月30日

2021年度 事業活動中間報告

2022年度 事業活動計画（案）

2022年度 会計収支予算（案）

2020年度決算「収支計算書」一部修正



2021年11月27日（土）

第109総会はコロナウィルス感染症予防対策のため
書面による総会と致します。

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

2021 年度事業活動中間報告 (10/25 現在)

自：2020 年 12 月 1 日 至：2021 年 11 月 30 日

響きあう BSA のために

2021 年度事業活動状況は、2020 年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅な活動休止となった。

こうした状況下で、長らく途絶えていた信徒叢書を実に 14 年ぶりに第二期信徒叢書として発行出来たことは歴史的快挙であり、特記したい。

その他の事業活動計画については、これまでに実施したものを紹介する。

* (見出しのローマ数字は、2021 年度事業活動計画 に対応している。)

I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動：

- ① ボランティア活動 (会員一人ひとりの日常活動及び支部活動)
- ② 機関紙「VISION」、 「BSA 信徒叢書」 その他出版物の配布

1. 伝道用小冊子「BSA 信徒叢書」の発行

概要は VISION 紙 175 号・管区事務所だより 366 号に掲載

・新刊信徒叢書、3 冊発行した。(2021/9 月)

(19) 「聖書の心と茶の心」 主教 高橋宏幸著

(20) 「ウィリアムズ主教に学ぶーその生涯と同師を巡る人々」

元立教学院院長 松平信久著

(21) 「神の教会・わたしたちの教会ー信徒の奉仕職のヴィジョン」

主教 加藤博道著

2. 機関紙 VISION

機関紙 [VISION] の充実

機関紙 VISION は、BSA の日常活動を記録し、周知することによって、会員相互を結ぶとともに、広く世間に対して BSA の存在を知らしめる唯一の広報紙である。

- ・VISION 173 号 2021 年 2 月発行
- ・VISION 174 号 2021 年 4 月発行
- ・VISION 175 号 2021 年 7 月発行
- ・VISION 176 号 2021 年 11 月発行予定
- ・発行部数・形態：年間 4 回発行。タブロイド版 (4~6 頁) を各回 2 千部発行。
- ・編集方針：投稿、本部・支部便りの更なる充実を図る。
特に、会員の紙面参加を奨励し、「会員による、会員のための紙面づくり」を目指す。
- ・配布先：全会員、日本聖公会の全教会、関係学校、医療、養護、諸施設、内外諸団体、本会の協力者に配布。配布先、配布部数の見直しをし、BSA 活動のさらなる浸透と業務の効率化を図る。

3. BSA 通信の発行・・・BSA の“見える化”活動

- ・BSA の存在や活動を BSA 会員以外の人々に広く周知し、知っていただく活動を「管区事務所だより、教区ニュース等」に掲載した。

II 教育事業 報告事項なし

III 社会事業 報告事項なし

IV その他事業

1. 支部との関係強化による一体感の醸成

(1) 「BSA 本部だより」の発行

支部と本部は車の両輪である。2016 年度から始めた「BSA 本部だより」の充実を図り、情報の共有を通じて、支部と本部の意思の疎通と連携を強化していく。

- ・1 年を通じ 理事会の様子などを中心に、必要に応じて発行する。

本部だより発行 29号 2020年10～2021年1月

30号 2021年2～5月

31号 2021年6～7月

32号 2021年8～9月

4. 特別委員会

- ・BSA の課題を精査整理し、検討・協議する。協議された内容は理事会に報告する。
- ・BSA の課題精査・見直しを行う「特別委員会」を 2020 年度に立ち上げ、
 - ① 2020 年度事業計画に基づき岩間光雄兄、尾崎茂雄兄、金子眞兄、木島出兄、小室喜雄兄、野田徹兄および松田正人兄の 7 名の委員が選任され、2 回の委員会をもったが、2 月 28 日以降に予定した会議は、コロナ禍の影響により中断している。
 - ② 第 1 回委員会 (12 月 28 日)
委員長 (岩間兄)、委員長補佐 (野田兄)、事務局 (木島兄)、役割分担の承認。当面 1 年間のテーマを決め、月 1 回の会議を行う予定とした見直す元になる資料のリストアップと課題の整理についての議論。
 - ③ 第 2 回委員会 (1 月 18 日)
用意された資料をもとに、BSA90 年の総括と現状の問題点を洗い出す方法について議論。
 - ④ 今後の委員会
引き続き 2021 年度も委員会活動を継続し、理事会への提言をまとめるため、課題をカテゴリー別に整理し、具体的な問題点の抽出と解決の方策を探る。
 - ⑤ 理事会 (2021.9.27) において、体調不調事由で委員長を辞退された岩間兄の後任に、松田正人兄を委員長とすることを承認した。事務局は野田徹兄。
 - ⑥ 今後のコロナウィルス感染状況を見て 委員会の開催を予定している。

5. BSA 創立 100 周年への取り組み

- ・第 105 総会で案内した「創立 100 周年記念事業基本構想」に基づき、2027 年を目指して第 1 期事業に掲げた諸事業に着手し、「気になる BSA」の考え方を確認し、進める。
- ・[BSA 創立 100 周年プロジェクト] 活動、
100 周年記念関連事業として [BSA100 周年誌] 製作の可能性を検討し、構成案のたたき台を議論する。
- ・100 周年記念関連基礎資料の収集
1) 資料：総会、理事会、支部長会議、諸委員会、青少年キャンプ、研修ツアー・BSA セミナー、諸印刷物等
- ・BSA 創立 100 周年記念「ロゴ・マーク」決定



V. 総会、役員会

1. 総会

- ① 第 108 決算定時総会 2021 年 2 月 27 日 (土) 書面による総会を開催
報告：①2021 年度 (2019.12.1.~2020.11.30.) 事業報告
議案：①2020 年度 (2019.12.1.~2020.11.30.) 会計収支・剰余金処分 (案)
決議

- ② 第 109 総会 2021 年 11 月 27 日 (土) 書面による総会を開催予定
報告：①2021 年度 (2020.12.1.~2021.11.30.) 事業活動計画中間報告
議案：①2022 年度 (2021.12.1.~2022.11.30.) 事業活動計画(案) 決議
②2022.年度 (2021.12.1.~2022.11.30.) 会計収支予算(案) 決議
ならびに 2020 年度決算「収支計算書」一部修正 決議

2. 理事会 ZOOM により毎月定例に開催

- 報告：委員会動向 (特別委員会、VISION 編集委員会、叢書委員会)
会員動向 (入会・訃報等)
BSA 運営支援金受領 (白石庵敬神会)
協議：コロナ禍に対処、個々の事業活動計画の見直し・休止を決定。
信徒叢書新刊発行関連
第 108、109 総会開催関連 (開催方法・提出議案等)
100 周年記念ロゴ・マーク選定

3. 評議員会 書面により総会開催時に開催 協議：第 108,109 総会提出議案審議

4. 第 107 総会時と同様 第 108 総会にあたり評議員・会員へ意見、提案、要望を求めた。
その概要は VISION 174 号 (2021.4.1 発行) に総会報告として掲載されている。

以上

第1号議案

2022年度事業活動計画（案）

自：2021年12月1日 至：2022年11月30日

響きあうBSAのために

BSAは2027年に創立100周年を迎える

新型コロナウイルス感染症によって活動を休止せざるを得なかった2020・2021年度活動計画を復活し、今年度事業として活動を継続して行う。

BSAの基本理念は「祈祷と奉仕」「一人が一人を」であり、御国拡張を目指すことに変わりなく、BSAは教会の働きに信徒が参加する集まりが土台となる。現在の会員数は正会員187名、賛助会員77名、聖職者会員76名を合わせた登録会員は340名である。地域別の分布を見ると、東京・横浜両教区に集中し、盛岡、福岡の両支部と各地に散在する個人会員が数人見られる。「BSAは全国区」といいながら、BSAの存在を知らない人々が多くいる。

BSAの裾野を広げ、BSAの“顕在化”を図る

BSA活動の広がりと今後の発展を図るため、とかくBSA内で完結しがちな活動についても、会員外の人たちに参加を呼びかけ、BSAを知り、馴染んでもらう努力をする。まずは知名度と理解度を、点から線、そして面に広げる。

BSA創立100周年までに 聖公会のすべての聖職および信徒への働きかけを強化し、BSAの“顕在化”を図る。BSAと聞けば、それが何であるのかを分かってもらえるようにしたい。

会員一人一人を大事にする運営

理事会等の動きを「本部だより」として支部長に送り、各会員に伝えてもらうことにしている。本部と会員との回路が太くなり、そのことがBSAの一体感につながることを期待している。問題は、個人会員との一体感をどう高めるかである。会員あつてのBSAであることを忘れてはならない。

BSA創立100周年への取り組み 「気になるBSA」を目指す

個別具体的な活動は、出来るだけ各年度の通常の事業活動計画の中で実施する。それによって限られたマンパワーを有効に活用する。また、この機会に既存の事業活動のスクラップ&ビルドを行い、事業活動の効率化と活性化を図る。

BSAが直面する課題にしっかり向き合い、100周年を迎える2027年には、北から南までお互いの活動が「響きあうBSA」、周囲から見れば最近のBSAはこれまでと違って、「何か気になることをしている」といわれるBSAを目指す。

2022年度は、これらを基本コンセプトとして、以下のような諸活動を展開していくこととするが、新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況の中、やむを得ず中止・休止延期となることもあり得るのでご承知おきいただきたい。

I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動：

- ① ボランティア活動（会員一人ひとりの日常活動及び支部活動）
- ② 機関紙「VISION」、**「BSA 信徒叢書」** その他出版物の配布

1. 伝道用小冊子「BSA 信徒叢書」

- ・執筆依頼中の 表題 （2022 年度の発行予定）
西原廉太主教：「キリスト教と科学」（仮）
市原信太郎司祭：「聖公会祈祷書小史」（仮）
「聖公会という教会」（仮）
- ・多くの方々に「BSA 信徒叢書」を周知し、その活用をひろめる。

2. 機関紙 VISION

機関紙 [VISION] の充実

機関紙「VISION」は BSA の方針や活動を会員および内外に周知し、会員との一体感を醸成するとともに、広く世間に BSA の存在を知ってもらうことを主たる目的とする。

◇発行計画

VISION	177 号	2022 年	1 月発行予定
VISION	178 号	2022 年	4 月発行予定
VISION	179 号	2022 年	7 月発行予定
VISION	180 号	2022 年	10 月発行予定

◇発行部数・形態

年間 4 回発行。タブロイド版（4～6 頁）を各回 2 千部発行。

◇編集方針

- 1 会員からの寄稿を増やし、参加感を高める努力をする。
具体的には、信仰や礼拝について日頃思っていること、会員として実践していること、コロナで仕事や生活はどう変わったか、BSA 本部への要望など、身近なことを通じて「会員の VISION」づくりに努力する。
- 2 理事会をはじめ BSA の諸活動を伝える情報を増やし、紙面の充実を図る。
- 3 連載物を開拓して、安定した紙面作りを目指す。

3. BSA 通信の発行・・・BSA の“見える化”活動

- ・BSA の存在や活動を BSA 会員以外の人々に広く周知し、知っていただく活動を「管区だより」「各教区時報」担当者のご協力を頂きながら実施

4. BSA 案内パンフレット作製、配布

- ・BSA への理解・会員勧誘の案内として、改訂「パンフレット」作成

5. ホームページの充実

<http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org>

「nkkk bsa」検索で閲覧することが出来る。

- ・掲載内容： BSA の歴史・組織概要・役員・支部一覧・活動
信徒叢書一覧・セミナー案内・会員ハンドブック・直近 VISION
総会資料（報告、事業活動計画、会計収支予算）
- ・親しまれる「ホームページ」となるよう心がける。

6. BSA セミナー

提案趣旨

2020年10月の管区総会で「日本聖公会法規の一部改正する件」が可決された。現在の11教区を「東・中・西」の3伝道教区に集約し、それぞれに「協働委員会」を設け、教区の枠を超えて理解し、支えながらともに進むこととしている。

教区再編成の目指すところは何か。この先、聖公会はどのような方向に進んでいくのか。この問題に対する関係者の理解促進に資することを目的とする。

実施時期： 未定

会 場： 未定（東京都内）

テーマ： 教えて！ “教区はどうなるの” （仮称）

講 師： 未定

主 催： 一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会（BSA）

後 援： 日本聖公会（申請中）

広 報： 機関紙『VISION』、BSA ホームページ、『管区事務所だより』、東京・横浜・北関東各教区の教区時報、各教会宛のチラシ、これまでの参加者ほか。

- II. 教育事業： ① キリスト教精神をベースとしたリーダーシップを持つ社会に有為な青少年の育成。
② 研修・交流ツアー等 成人のための啓発事業
③ 神学生教育の充実に資する

1. BSA 青少年キャンプ

☆ 開催地を清泉寮とした「こども・青少年キャンプ」へ、KEEP 協会、関連諸団体と協働・支援

・BSA 企画「青少年キャンプ」開催

・3/28日（月）～30（水）「青少年キャンプ」（第6回）

企画内容：キリスト教精神に基づいて、BSA オリジナル・プログラムである指導者訓練キャンプをキープ協会と共催で開催する。

目的：BSA の祈禱と奉仕の精神をもとに、自然体験と共同生活を通して、こども達の感性と自主性、自然と人間の関わり、他者への思いやりや生きる力を育てることを目的とする。

共催：日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)・キープ協会(KEEP)

後援：日本聖公会

会場：公益財団法人キープ協会 自然学校

参加者：20名（BSA スタッフ7名・KEEP スタッフ7名）

・東京教区「合同こどもキャンプ」支援 開催日未定

会場：清里フォレストスターズキャンプ場

2. 立教大学 BSA 支部 との関係を継続し、深める

3. BSA 研修ツアー

史跡めぐり・巡礼・教会訪問・祈り・学び・親睦を目的として年1回開催する。

4. 聖公会神学院・ウイリアムス神学館へ支援、神学生教育の充実に資する。

神学生教育充実のため、使途目的を特定した「積立金」を計上し、支援出来る体制づくりを行い、活用できる運用制度を設ける。

- III. 社会事業： ① 困難な状況にある人々を支援・救済するボランティア活動やチャリティ・コンサート、講演会等の開催
② 公益財団法人キープ協会との協働、

1. 災害被災者への復興支援活動

・災害被災者支援のため。地震・噴火・台風・豪雨等による大災害に対し、その被災状況に応じて支援活動を行う。

2. ボランティア活動

支部活動として、また各個会員により実施する。

3. 公益財団法人 KEEP 協会と協働した活動

- ◇ 行事・諸活動の企画・実施に当たり、KEEP 協会と協働して活動。
・青少年キャンプ（教育事業）を共催で開催する。
・コロナ禍の中にあつて大きな誤算が生じたキープ協会の収益事業を、機関紙 VISION などを活用し、広くキープ協会の働きを広報して、特に清泉寮を中心とする各施設の利用を推奨する。

IV. その他事業： BSAの目的を達成するため必要な事業

1. 支部との関係強化による一体感の醸成

(1) 「BSA 本部だより」の発行

支部と本部は車の両輪である。2016年度から始めた「BSA 本部だより」の充実を図り、情報の共有を通じて、支部と本部の意思の疎通と連携を強化していく。

- ・1年を通じ 理事会の様子などを中心に、必要に応じて発行する。
- ・支部に属さない会員への対応を考え、実施する。

(2) 支部長会議

本部活動概要報告、支部活動報告、支部の抱える諸課題、本部への要望等を話し合い、分かち合い、理事会へ意見具申する。

- ・2022年2月開催の第110総会以前に開催を予定する。

(3) 支部との懇談会の実施

本部役員と支部会員との懇談会を継続実施。詳細は「VISION」等で周知する。

2. 支部活動の活動支援

- ・支部からの企画提案を受ける。
- ・理事会は、支部体制の確立に向け検討、支援を行う。

3. 支部の増設ならびに会員増強活動

- ・BSAの裾野を広げる活動を会員以外の人たちへ広げる。
- ・BSAの認知度を高める。
- ・BSA事業の協力者を広め、活動の賛同者を得るよう努める。
- ・BSA空白教区へ積極的にアプローチする。

4. 特別委員会

- ・BSAの課題を精査整理し、検討・協議する。協議された内容は理事会に報告し、具体化できる課題から改善していきたい。

5. BSA創立100周年への取り組み

- ・第105総会で案内した「創立100周年記念事業基本構想」に基づき、2027年を目指して第1期事業に掲げた諸事業に着手し、「気になるBSA」の考え方を確認し、進める。
- ・「BSA創立100周年プロジェクト」活動、理事会へ提言
- ・アーカイブス 基礎資料の収集（写真・音声・印刷物など）

6. 「2022年日本聖公会宣教協議会」への参加を積極的に希望する

- ・2022年11月4日（金）～7日（月） 開催地：清里・清泉寮

V. 総会、役員会

1. 総会

- ① 第110 決算定時総会 2022年2月26日（土）予定 於：東京教区会館3階
報告： ①2021年度（2020.12.1.～2021.11.30.）事業報告
議案： ①2021年度（2020.12.1.～2021.11.30.）会計収支・剰余金処分（案）
②役員任期満了に伴い新たに役員（理事14名・監事2名）選任の件
- ② 第111 総会 2022年11月26日（土） 於：未定
議案： ①2023年度（2022.12.1.～2023.11.30.）事業活動計画（案） 決議
②2023年度（2022.12.1.～2023.11.30.）会計収支予算（案） 決議

2. 理事会 毎月定例に開催

3. 評議員会 総会開催時に開催

以上

第2号議案

2022年度(令和4年)会計収支予算(案)
自:2021年(令和3年)12月1日~至:2022年(令和4年)11月30日

(単位:円)

勘定科目 大科目 CD 小科目	2021年 予算	2022年 予算(案)	備考
1 事業活動収入			
1 会費収入	820,000	820,000	
1 正会員会費収入	700,000	700,000	個人会費 5,000 X 140件
2 賛助会員会費収入	120,000	120,000	賛助会費 3,000 X 40件
2 事業収益	1,593,000	1,625,000	
3 各種活動収入	1,032,000	1,025,000	青少年キャンプ等参加費、研修参加費
4 広告収入	461,000	500,000	機関誌掲載広告収入
5 諸頒布収入	100,000	100,000	信徒叢書等印刷物頒布
3 受取寄付金	80,000	100,000	
6 寄付金収入	80,000	100,000	各種事業に係る寄付金収入
4 雑収入	600,000	600,000	
7 雑収入	600,000	600,000	キープ事務所負担金
8 受取利息	0	0	預金利息等
事業活動収入計(A)	3,093,000	3,145,000	
2 事業活動支出			
1 事業費支出	2,635,000	2,580,000	
21 各種援助金		100,000	支援活動援助費、災害支援金
22 各種活動費	1,635,000	1,580,000	青少年育成事業、各種会合研修費、叢書発行費他
23 文書活動費	1,000,000	900,000	機関紙発行費用、パンフレット作成費用他
24 給与手当		0	
25 旅費交通費		0	
26 通信運搬費		0	
27 消耗品費		0	
28 印刷製本費		0	
30 渉外費		0	
32 雑費		0	
2 管理費支出	805,000	865,000	
51 役員報酬		0	
52 給与手当		0	
53 旅費交通費	285,000	330,000	一般交通費、支部訪問、交通費補助(支部長会・理事会)
54 通信運搬費	120,000	70,000	電話料、切手代、郵送代、その他
55 什器備品費	25,000	25,000	パソコン及び付属品
56 消耗品費	70,000	70,000	管理関連事務用品、一般消耗品代他
57 印刷製本費	60,000	20,000	一般印刷ならびにコピー代
58 会議費	10,000	10,000	一般会議、打ち合わせ、会合費
59 修繕費	10,000	10,000	事務機器修理代
60 渉外費	30,000	100,000	慶弔費ならびに記念品代、一般渉外費
61 特別献金	120,000	120,000	日本聖公会東京教区献金
62 支払手数料	25,000	30,000	郵便振替手数料他手数料
63 雑費	50,000	80,000	聖公会手帳掲載費、一般諸雑費
事業活動支出計(C)	3,440,000	3,445,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 347,000	△ 300,000	
前期繰越収支差額	3,973,053	3,626,053	
資金取崩収入	0	0	
次期繰越収支差額	3,626,053	3,326,053	

別表

主な事業活動収入内訳		2021年度予算	2022年度予算 (案)	
事業活動				
3	各種事業活動	1,032,000	1,025,000	
	青少年キャンプ	300,000	300,000	15名@20000-
	B S Aセミナー	42,000	25,000	
	研修旅行	600,000	600,000	
	総会関係	90,000	100,000	懇親会会費他

主な事業活動支出内訳				
事業活動				
22	各種活動費	1,635,000	1,580,000	
	青少年キャンプ	300,000	450,000	
	B S Aセミナー	65,000	50,000	
	研修旅行	600,000	600,000	
	総会関係費	170,000	170,000	
	100周年事業	50,000	10,000	活動費
	青少年育成	0	50,000	合同子どもキャンプ 支援
	信徒叢書新刊発行	450,000	250,000	2冊発行製作
23	文書活動費	1,000,000	900,000	
	VISION	850,000	850,000	4回/年
	パンフレット作成等	150,000	50,000	
管理費				
53	旅費交通費	285,000	330,000	
	一般交通費	150,000	180,000	
	理事会	35,000	50,000	
	支部長会	50,000	50,000	
	支部訪問	50,000	50,000	
54	通信運搬費	120,000	70,000	
	電話代・郵送代他	70,000	70,000	
	総会関係費	50,000	0	事業活動費へ移動
57	印刷製本費	60,000	20,000	
	一般印刷・コピー代	30,000	20,000	
	総会資料印刷製本	30,000	0	事業活動費へ移動

収 支 計 算 書 (修正)

2020年度 (令和2年度)

(自: 2019年 (令和1年) 12月1日 ~ 至: 2020年 (令和2年) 11月30日)

2020年 (令和1年) 11月30日現在

単位: 円

勘 定 科 目	予 算 額	修正前決算額	修正決算額	備 考
大 科 目 小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1. 会費収入	820,000	671,000	796,000	
正会員会費収入	700,000	560,000	685,000	個人会費 5,000×112件
賛助会員会費収入	120,000	111,000	111,000	賛助会費 3,000×37件
2. 事業収益	1,526,000	511,290	511,290	
各種活動収入	1,030,000	0	0	青少年キャンプ, セミナー, 研修旅行参加費等収入
広告収入	461,000	485,000	485,000	機関誌掲載広告収入
諸頒布収入	35,000	26,290	26,290	叢書販売収入, 印刷物頒布収入
3. 受取寄付金	80,000	1,052,300	1,052,300	
寄付金収入	80,000	1,052,300	1,052,300	各種事業に係る寄付金収入
4. 雑収入	600,000	614,368	614,368	
雑収入	600,000	614,346	614,346	キフ事務所負担金, 預り金からの振替
受取利息	0	22	22	預金利息等
事業活動収入計(A)	3,026,000	2,848,958	2,973,958	
2. 事業活動支出				
1. 事業費支出	2,382,000	848,223	848,223	
各種援助金	0	0	0	支部活動援助費・災害支援金
各種活動費	1,382,000	123,150	123,150	青少年育成事業費・各種会合研修費・叢書発行費他
文書活動費	1,000,000	725,073	725,073	機関誌発行(年4回)
給与手当	0	0	0	事業関連業務アルバイト代(2018.2月終了)
旅費交通費	0	0	0	事業活動交通費他
通信運搬費	0	0	0	事業活動電話料, 切手代, 郵送代, 其他
消耗品費	0	0	0	事業活動関連事務用品, パソコン, 消耗品代他
印刷製本費	0	0	0	その他印刷並びにコピー代
渉外費	0	0	0	事業関連慶弔費並びに記念品代, 一般渉外費
雑費	0	0	0	事業関連諸雑費
2. 管理費支出	965,000	606,771	606,771	
役員報酬	0	0	0	無報酬
給与手当	0	0	0	無報酬
旅費交通費	450,000	184,618	184,618	一般交通費・支部訪問・交通費補助(理事会)
通信運搬費	120,000	45,167	45,167	電話料, 切手代, 郵送代, 其他
什器備品費	25,000	28,600	28,600	パソコン及び付属品代
消耗品費	70,000	67,882	67,882	管理関連事務用品, 一般消耗品代他
印刷製本費	60,000	3,475	3,475	一般印刷並びにコピー代
会議費	10,000	0	0	一般会議, 打合せ, 会合費
修繕費	10,000	15,700	15,700	事務機器等修理代
渉外費	30,000	37,986	37,986	慶弔費並びに記念品代, 一般渉外費
特別献金	120,000	120,000	120,000	日本聖公会東京教区献金
支払手数料	20,000	24,743	24,743	郵便振替手数料他手数料
雑費	50,000	78,600	78,600	一般諸雑費, 聖公会手帳広告費
事業活動支出合計(C)	3,347,000	1,454,994	1,454,994	
当期収支差額(A)-(C)	△ 321,000	1,393,964	1,518,964	
前期繰越収支差額	2,454,089	2,579,089	2,454,089	
資金取崩収入	0	0	0	
次期繰越収支差額	2,133,089	3,973,053	3,973,053	

修正箇所

修正箇所

2020 年度会計収支決算「収支計算書」一部修正の件

第 108 総会で決議された「2020 年度会計収支決算」の「収支計算書」を一部修正いたします。

この案件は、第 109 総会において一部修正された箇所の承認を受ける必要があります。

「修正事由」

第 106 総会で決議された 2019 年度会計収支決算の仮受金(2020 年度会費収入) 125,000 円を 2020 年度会計収支決算「収支計算書」の事業活動収入・会費収入に加算していなかったことが原因となり、「収支計算書(修正)」の修正がなされ、会費収入欄の金額変更となります。

また、前期繰越収支差額 2,579,089 円が転記ミスのため、正しい金額に置き換え 2,454,089 円となります。次期繰越収支差額決算額 3,973,053 円の変更はありません。

なお、貸借対照表・財産目録の修正変更はありません。

2021年度BSA名誉役員及び役員並びに幹部

2021.10.25.現在

名誉会長： 日本聖公会首座主教・九州教区 武藤謙一主教

名誉副会長： 日本聖公会各教区主教

北海道教区	植松 誠主教	東北教区	吉田雅人主教
北関東教区	管理・高橋宏幸主教	東京教区	高橋宏幸主教
横浜教区	入江 修主教	中部教区	西原廉太主教
京都教区	高地 敬主教	大阪教区	磯 晴久主教
神戸教区	小林尚明主教	沖縄教区	上原榮正主教

名誉チャプレン：武藤六治主教

本部チャプレン：高橋宏幸主教、下条裕章司祭、

支部チャプレン：盛岡支部 越山哲也司祭 聖ルカ礼拝堂支部（休会中）上田憲明司祭
東京聖三一教会支部 菅原裕治司祭 聖マルコ教会支部 佐々木庸司祭
イマヌエル新生教会支部 卓 志雄司祭 神田支部 井口 諭司祭
南町田支部 鈴木裕二司祭 横浜支部 渡部明央司祭
藤沢支部（休会中） 松田 浩司祭 湘北支部 片山 謙司祭
平塚聖マリア教会支部 島田征吾司祭 林間支部 片山 謙司祭
房総支部 田澤利之司祭 北総支部 三原一男司祭
清里支部 小林祐二司祭 福岡支部 李 相寅司祭

顧問： 瀬川義夫、黒田哲朗、倉石昇、

会長： 足立征三郎

副会長： 尾崎茂雄、木島出

理事： 永井信行、後藤 務、萩谷長生、桑田秋光、吉松英美、野田徹、島崎敏彦、
松平謙次、湯田啓一、湯田正範、松田正人、

監事： 早川 潔、永井惇、

本部： 足立征三郎、木島 出、橋岡加都子、

評議員： 19名（内支部長評議員12名）

（支部長）赤坂徹、川村啓三、天野公成、金澤一央、早野勝徳、渡辺多茂夫、小室喜雄、
高橋恵太郎、金子眞、池田稔、岩間光雄、外池圭二、

（評議員）国見登、戸川達男、松岡正治、高橋保、諫山禎一郎、小出康之、倉辻明男、

【支 部】

盛岡支部 5名

チャプレン：越山哲也司祭

支部長：赤坂 徹

聖ルカ礼拝堂支部（休会中） 2名

チャプレン：上田憲明司祭

支部長：早川 潔

東京聖三一教会支部	13名	東京聖マルコ教会支部	3名
チャプレン：菅原裕治司祭		チャプレン：佐々木 庸司祭	
支 部 長：川村啓三		支 部 長：島崎敏彦	
インマヌエル新生教会支部	5名	神 田 支 部	4名
チャプレン：卓 志雄司祭		チャプレン：井口 諭司祭	
支 部 長：天野公成		支 部 長：金澤一央	
南町田 支部	12名	横 浜 支 部	19名
チャプレン：鈴木裕二司祭		チャプレン：渡部明央司祭	
支 部 長：松田正人		支 部 長：早野勝徳	
藤 沢 支 部 (休会中)	8名	平塚聖マリヤ教会支部	15名
チャプレン：松田 浩司祭		チャプレン：島田征吾司祭	
支 部 長：渡辺多茂夫		支 部 長：小室喜雄	
湘 北 支 部	3名	林 間 支 部	5名
チャプレン：片山謙司祭		チャプレン：片山 謙司祭	
支 部 長：高橋恵太郎		支 部 長：金子 眞	
房 総 支 部	20名	北 総 支 部	15名
チャプレン：田澤利之司祭		チャプレン：三原一男司祭	
支 部 長：池田 稔		支 部 長：岩間光雄	
清 里 支 部	8名	福 岡 支 部	8名
チャプレン：小林祐二司祭		チャプレン：李 相寅司祭	
支 部 長：野田 徹		支 部 長：外池圭二	

【会 員】

(2021年10月25日現在)

聖職会員名誉会員総数		76名
名誉会長・副会長：	11名	
名誉チャプレン	1名	
本部チャプレン：	2名	
支部チャプレン：	15名	
聖職会員：	46名	
正 会 員：		187名
支部会員：	143名	
個人会員：	44名	
賛助会員：		77名

登録会員 340名
(うち年会費登録会員 264名)

新入会員

2021.03.01.	ペテロ	正	アリムラ 有村	モトノ 元信	65歳	福岡聖パウロ教会	福岡支部
-------------	-----	---	------------	-----------	-----	----------	------

† 物故会員

2020.09.20.	ジェームス	正	キミツカ 君塚	シゲハル 重春	84歳	立教学院諸聖徒礼拝堂	一般会員
2021.03.01.	アンデレ	正	ニシカワ 西川	タカオ 堯夫	84歳	奈良基督教会	一般会員
2021.04.12.	ロバート	正	ワダ 和田	アキラ 明	86歳	藤沢聖マルコ教会	藤沢支部
2021.05.20.	ヨセフ	正	マツダイラ 松平	ノヒサ 信久	80歳	聖愛教会	一般会員
2021.06.20.	セシリア	賛助	ハタノ 波多野	ハルコ 春子	92歳	立教学院諸聖徒礼拝堂	林間支部
2021.01.31.	ヨハネ	聖職	オカノ 岡野	トシハル 利治	96歳		元京都教区主教
2021.09.13.	ヨセフ	聖職	タケダ 竹田	マコト 眞	91歳	元首座主教・元東京教区主教・元本部チャプレン	

主よ、世を去った兄弟姉妹の魂が、主の憐れみによって安らかに憩うことができますように。

アーメン